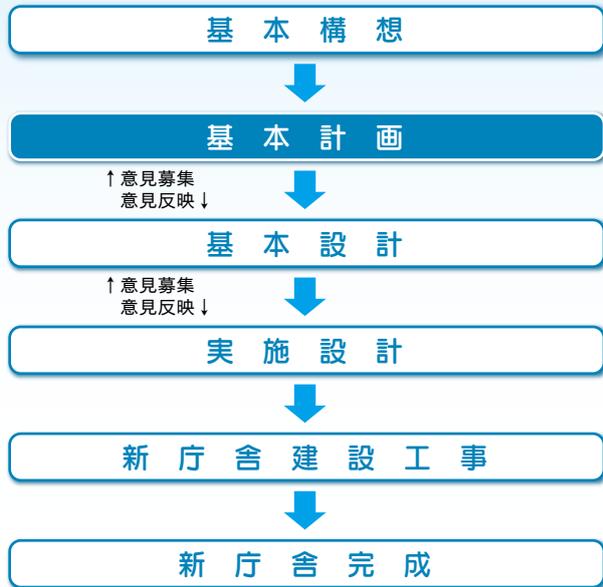


国東市新庁舎建設基本計画を策定しました

新庁舎建設基本計画は、基本構想で示された基本方針や必要な機能を具現化していくために、必要な庁舎の規模及び建設位置を示すとともに、実際の設計に反映させるために必要な要件を具体的に示すものです。

今回、新庁舎建設検討専門家委員会・市民委員会の検討及び議会への報告を経て、本計画がまとまったことから、これを公表し、市民の皆さまのご意見を伺います。

市民の皆さまからお寄せいただいたご意見については、必要に応じて次の基本設計の段階で反映させ、さらに、基本設計についても公表・意見募集を行うこととし、市議会及び市民の皆さまのご意見を、次の実施設計の段階でも十分反映させる仕組みとしています。



1 庁舎整備の方針と具体的機能

基本構想における基本理念と基本方針	基本計画における庁舎整備の方針と具体的機能								
<p>市民にとって親しみやすく安全な庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民が利用しやすい親しみのある庁舎 ●災害対策拠点として機能する庁舎 ●環境にやさしい庁舎 	<p>誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインを取り入れ、わかりやすく利用しやすい庁舎をめざします</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) ユニバーサルデザインの導入</td> <td>・わかりやすい案内表示・多目的トイレの導入 ・キッズスペース等</td> </tr> <tr> <td>(2) 窓口機能と市民交流機能の充実</td> <td>・総合窓口等の検討・市民の交流や憩いの場 ・協働の拠点等</td> </tr> </table> <p>災害発生時に地域の防災組織や関係機関と連携して、速やかに対応・対策がとれる庁舎をめざします</p> <table border="1"> <tr> <td>(3) 防災拠点機能の充実</td> <td>・防災安全性の強化 ・防災拠点機能の整備 ・災害対策機能の整備</td> </tr> </table> <p>自然エネルギーの有効活用を図り、地球環境に配慮した「グリーン庁舎」をめざします</p> <table border="1"> <tr> <td>(4) 環境負荷の低減</td> <td>・施設の長寿命化 ・自然エネルギーの利用等 ・省エネ設備の導入等</td> </tr> </table>	(1) ユニバーサルデザインの導入	・わかりやすい案内表示・多目的トイレの導入 ・キッズスペース等	(2) 窓口機能と市民交流機能の充実	・総合窓口等の検討・市民の交流や憩いの場 ・協働の拠点等	(3) 防災拠点機能の充実	・防災安全性の強化 ・防災拠点機能の整備 ・災害対策機能の整備	(4) 環境負荷の低減	・施設の長寿命化 ・自然エネルギーの利用等 ・省エネ設備の導入等
(1) ユニバーサルデザインの導入	・わかりやすい案内表示・多目的トイレの導入 ・キッズスペース等								
(2) 窓口機能と市民交流機能の充実	・総合窓口等の検討・市民の交流や憩いの場 ・協働の拠点等								
(3) 防災拠点機能の充実	・防災安全性の強化 ・防災拠点機能の整備 ・災害対策機能の整備								
(4) 環境負荷の低減	・施設の長寿命化 ・自然エネルギーの利用等 ・省エネ設備の導入等								

整備方針には、上記のほか (5) 行政機能 (6) 議会機能が加わります。

概要版

2 新庁舎の規模の算定

庁舎規模算定の前提条件

(計画人口)

・30,000人

(第1次国東市総合計画 平成29年の推計人口)

(職員数)

・268人

(特別職2人、正規職員210人、臨時職員56人)

(議員数)

・22人 (基本計画策定時の議員定数)

※なお、平成25年6月定例議会において次の一般選挙から議員定数の削減が決定されましたので、基本・実施設計段階では、基本計画の関連事項を改め

(議員数)
・20人 (次回の一般選挙以降の議員定数) で算定します。

庁舎規模の算定

(基本構想時の庁舎適正規模)

・約9,000㎡

くにさき総合文化センター周辺で庁舎建設が決定したことにより、教育総務課、学校教育課、人権・同和対策課、保健センター分の規模縮小。

(基本計画策定時の庁舎適正規模)

・約7,400㎡

(議員定数削減後の庁舎適正規模)

・約7,300㎡

駐車場規模の算定

(駐車場の確保)

・くにさき総合文化センター前面駐車場の再整備を行い、障がい者用として4台以上、二輪車約